物質の流れから干潟生態系の保全について考える

担当教員： 坂巻 隆史 教授，野村 宗弘 助教
（連絡先 022-795-7472，takashi.sakamaki.a5@tohoku.ac.jp）

受入人数： 最大5名

実施時期： 集中講義形式で，９月を中心に実施予定．具体的な日程は追って調整

初回開始： 日時は追って調整/人間環境系教育研究棟304号室

概　　要：干潟生態系は，多様な生物の生息地としての役割に加え，人々にとっての親水空間としての機能も果たす．さらに干潟は，栄養塩・有機物の活発な代謝の場でもあり，水質浄化や生物生産を物質的に支えている．本研修では，仙台市近郊の蒲生干潟の見学などを通じて，干潟における物質動態の特徴や生態系保全上の課題について理解を深めることを目指す．そのうえで，物質動態研究の意義や，生態系保全・管理の在り方・難しさについて議論する．